

谷口まさのり 所沢市政レポート

『9月議会報告編／10/29(土)30(日)市政報告会 ご案内編』

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111 / FAX：04-2941-5112

メール (パソコン) : tani.eco@dream.ocn.ne.jp

ツイッター : <http://twtr.jp/user/taniguchi1965/status>

ホームページ : <http://www.taniguchi-mirai.jp>



谷口まさのり

- ◆ ささやかな『成果』？ ・ ・ ・ 市借金の全体像の情報提供へ一歩前進
- ◆ 『天下り団体？』との契約（駐輪場管理者）に反対の立場から討論！
- ◆ 『議員定数のあり方』についての進捗状況 ・ ・ ・ （後述）

私、谷口は9月議会において、議案に対する質疑、討論、一般質問にて以下の主旨で発言致しました。
（録画で見られます。『所沢市議会』で検索⇒『所沢市議会 録画中継』⇒『定例会9月』⇒9/2質疑、9/9一般質問、9/21討論）

1) 広報ところざわ8月号の『所沢市の財政事情』に事業会計の借金も併せて記載へ

昨年までは、一般会計、特別会計のみの市債(市の借金)記載であったが、6月議会で谷口より、市民の方に現状の借金の全体像がより見えるように事業会計も含めて記載すべきと提言、今回、H22年度の決算として、水道事業、病院事業を加えて、この範囲で合計890億円の市債があることが上述広報紙で新たに情報提供されることになりました。(市HPで確認できます。)



2) 自転車駐輪場の指定管理者（H24年度から5年間）に関する議案

今回、所沢市が管轄する駐輪場で管理委託契約が終了するH24年4月以降、指定管理者として契約（夫々の駐輪場を5グループにまとめ）をしたい旨の候補として、(社)所沢市シルバー人材センター（2グループ管理）、株式会社の2社、そして、『財団法人 自転車駐車場整備センター』（以下、『整備センター』）の計4法人について、議会での議決が求められました。

私、谷口は9/21に本議案（整備センターに関する単独議案）に反対の立場から以下のような主旨で発言しました。『この整備センターの役員名簿には、国土交通省OBや総務省OBが名を連ね、常勤役員6名全員がこれらの省庁OBで占められている。また7月の総務省発表の「同一の中央省庁幹部を3代以上連続で、役員として受け入れている、独立行政法人や公益法人の組織とポストに関する旨の調査」では、この整備センターの専務理事のポストが明記されている。まさしく税金の使われ方で問題が非常に多いと言われる『天下り先』の1つである。定年前に、従来の省庁から組織の外に出ていかざるを得ない状況には同情せざるを得ないが、この点については、定年までは省庁内に留まり、能力を発揮できる人事制度に早期に改めるべきと谷口は従来から考え、そのように発言してきた。またこの整備センターの『収支計算書』を見ると、H22年度決算収入で『地方公共団体拠出金収入』という名目で、約2.4億円もある。詳細は不明であるが、所沢市のような地方公共団体がこの天下り先の組織維持に協力させられている構図も見て取れる。世間では中央省庁OBの『天下り』や『渡り』といわれているような組織に対しては、不正なことが次々に明らかになり、税金の無駄遣いとして、非常に厳しい目が注がれている。このような組織と契約を結ぶことは納税者の理解が得られないと考える。このような観点より、公の事業の構図としては不適切と考え、本議案に反対する。』その後、無記名投票の結果、反対11票、賛成24票で、本議案は可決されましたが、今回の討論で大々的に取り上げましたので、次回更新時には市としても指摘事項に対して対処せざるを得ない状況になると考えます。

（裏面へ）

◆ 谷口まさのり経歴 ・昭和40年生まれ、埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業 ・栗田工業（環境系）や省エネのコンサル企業に計15年間在籍（技術営業） ・2011年4月 所沢市議選に当選（2,644票、みんなの党 公認） ・環境カウンセラー／社会保険労務士

3) 一般質問（主に市執行部に対し、事業等に関する質問）



①医療費の抑制対策

ジェネリック医薬品（後発医薬品）のさらなる推進で、国民健康保険財政の厳しい状況について、医療関係団体の理解を得ながら、例えば『医療費のお知らせ』の記載場所にもうひとつ工夫、（つまりは表紙にジェネリックに替えた場合は薬代が安くなる可能性があることを記載）またジェネリック医薬品の希望カード配布も推進策の1つで、今後検討していくべきではないか。さらにジェネリック医薬品推進の先進事例である広島県呉市の取り組みを紹介しました。呉市では、国民健康保険関連でのレセプトの電子データ化による『差額通知』（ジェネリックに切り替えた場合に、どの程度、薬代が安くなるか）で徐々にジェネリックへの切り替えが進み、現在、年間で1.1億円の医療費削減が見込まれていることを取り上げ、今後の市の施策について問い質しました。市からの答弁は『医療費のお知らせへのジェネリック記載場所やジェネリック希望カードの配布についての提言は今後の検討を、また呉市のような差額通知は今後の研究課題にする。』とのことでした。

②市管轄『ところバス』の路線（三ヶ島循環）その他の見直し（交通弱者対策）

ところバスの三ヶ島循環コースにおいて、三ヶ島中学校から463バイパスを越えて狭山ヶ丘駅に向かう県道（メイン道路）の一部、約1.4kmは元々民間の路線バスのルートということもあってか、この1.4kmの距離の部分が、ところバス路線の空白となっております。しかしながら今年7/1の民間路線バスのダイヤ改定で、この空白の1.4kmの間にある、金井が原入口バス停では、狭山ヶ丘駅行きは1番目は6:07発、そして2番目は、なんと夕方の17:55発となってしまいました。自転車や自家用車等の自前の交通手段がなく、タクシーもそうそう使えない高齢者にとっては、まさに交通難民化してしまっている。この状況は早急に改善すべき事項ではないかとの質問に対して、市の答弁では、『営利を追求する民間バスと同程度の頻度の見直しは難しい。今後、検討委員会の中で見直しを検討していく。』旨のつれない答弁でした。尚、この関連では今議会でも市より提出されていた補正予算の『ところバス乗降量調査事業』が可決されたことを付け加えておきます。

③その他：8月実施の『事業仕分け』総括、高齢者医療費抑制の『埼玉県小鹿野町モデル』、小手指駅周辺での住民票等の証明書発行、小手指市民プールの方向性、保育園の保育料値上げ、震災ガレキ処理の協力方向性について質問致しました。（詳細は『録画中継』でご覧下さい。）

★その他9月議会では、地域サロン事業（高齢者の居場所作り）や空間放射線測定器購入等の補正予算（13.6億円）や図書館（分館）の指定管理者等の議案が可決されました。

4) 『議員定数のあり方』について

（谷口は4月の選挙では、今後3回の選挙で36名から24名への削減を主張）8/18の議会運営委員会（以下、議運）の閉会中審査において、会派『みんなの党所沢』の意見として、谷口は議員のあり方の今後の進め方として、議員報酬についてはH20年10月に市長へ提出された審議会答申主旨を踏まえて判断すべき（答申で年間約44万円削減）、議員定数については参考人質疑、政策討論会を活用して、来年6月までに議論を終結し論点を明確化すべきとの提案を行いました。（尚、議会基本条例では、定数、報酬について改正議案を提出する際は明確な理由を付すこと、公聴会制度及び参考人制度等を十分に活用することを規定）また他の会派（議運には計6会派が参加）からは、谷口会派と同じ方向の意見や新たに附属機関を作って、そこで議論を行うといった意見などがありました。その後、今回9月議会で、この課題を着実に進めるべきと提起し、現在、できるだけ多くの会派で一致点を見出し、多数を形成しながら前に進めていくよう動いております。

「谷口まさのり 市政報告会 開催ご案内」



① 今回の9月議会の報告 ②報告に対しての質疑応答や参加者の皆様と意見交換させていただきます。報告会終了後には会場を変えて会費制で食事をしながらの交流会も予定しております。お気軽にご参加下さい。

◆小手指駅周辺開催：10/29（土）15:00～17:00前後

会場：小手指公民館『分館』の2階研修室にて（20席）

◆狭山ヶ丘駅周辺開催：10/30（日）15:30～17:30前後

会場：狭山ヶ丘コミュニティーセンター（通称コミセン）の2階学習室にて（18席）

10/30の交流会は、ささやかではありますが、『東北復興応援企画』として、被災県からの食品をできるだけ揃えての開催を予定しております。